

角田支局記者 会田正宣 の Let's KAKUDA!

高蔵寺・阿弥陀様に思う

角田の古刹、勝楽山高蔵寺に伝わる国指定重要文化財の阿弥陀如来坐像が、京都市の美術院国宝修理館で修復されることになりました。阿弥陀如来さまは、表面の漆がはげ落ちたり、髪の毛のらほつが損傷したり、下地が経年劣化したりしていました。東日本大震災で台座の蓮弁も損傷しました。これらの総合的な修復を行うとのこと。像の本尊が約2年間で、続いて台座と光背の修復に移り、足かけ4年のプロジェクトです。修復は約90年ぶり、阿弥陀堂の外に運び出されたのは初めてとされます。搬出作業は、いったん像を台座から下ろして仰向けに横に寝かせ、左膝の方から斜めにして出した後、全体をにじむように運び出しました。阿弥陀堂の扉も外し、スペースを少しでもつくっての作業でした。美術院の担当者によると、これほどの大きさの仏像の修復は、京都でもそんなに多いことではないとのことでした。市が誇る随一の文化財が見事に修復されて、また素晴らしいお姿を再び拝めることを楽しみにしています。

高蔵寺は平安時代の819年に、徳一菩薩によって創建されたと伝えられます。徳一菩薩は、京都の比叡山で天台宗を創始した最澄と論争するなど、深い学識を持備えた高僧でした。会津の磐梯町には徳一菩薩が創建した「慧日寺跡」が残り、薬師如来坐像の復元などの取り組みが始まっています。会津では徳一菩薩と仏都会津への関心が高まっており、文化庁の日本遺産認定を目指しています。

さて、高蔵寺はその後、藤原氏三代秀衡と、その妻によって1177年(治承元年)に、阿弥陀如来さまと阿弥陀堂が建立されたと伝えられます。奥州藤原氏の勢力範囲から見て、高蔵寺は頼朝など坂東や京都からの外部勢力に対する備えとして、阿武隈川の水運と、平行する山間の街道の両面で、角田盆地は今思う以上に重要な位置を占めていたのではないのでしょうか？建造物として平安時代の阿弥陀堂が現存しているのは、東北では中尊寺金色堂、福島県いわき市の白水阿弥陀堂だけ。全国でも宇治の平等院、大原三千院など数少なく、貴重な建物です。高蔵寺の文化遺産としての高さは、一般的に市民が思っている以上ではないか？と思います。

観光地のにぎわいだけを目指すべきではないにせよ、角田の観光は年間20万人そこそこ。仙南では最も少なく、蔵王町の9分の1、隣の丸森町と比べても3分の1しかありません。交流人口は観光だけでなく、陸上競技場などのスポーツ関係もありますから、一概には言えませんが、アピール不足であることは確かです。

河北新報角田支局 会田正宣
kakuda@po.kahoku.co.jp ※連絡の行き違い防止のため、配達関連の連絡は販売所までお願いいたします。→
TEL 0224-62-1568/FAX 0224-62-0707

す。前回、宇宙のまちづくりについても述べましたが、地域に資源がないわけではないのに、発信の工夫と努力が十分なされていないと思います。観光はじめ各分野で、「もったいない」と思うことがしばしばあります。まちづくりに関する議論の場も少ないように思います。市商工会青年部が30日、「わかもの議会」を初開催します。中学生から20代を対象に、人口減の中での角田のまちづくりについて話し合ってもらい取り組みです。今回傍聴席は設けないことになっていますが、活発な議論を期待しています。さまざまな場で身の回りの社会、時代について話し合われることが原点であり、ぜひ文殊の知恵を絞ってほしいものです。



約90年ぶりに修復される阿弥陀如来坐像

編集後記

●プロ野球は日本シリーズ真っ最中！昨日(10/25)は2連敗中の北海道日本ハムが延長10回、大谷選手のサヨナラ打で勝利！最高に盛り上がりました。今日以降の戦いが楽しみです。横浜DeNAベイスターズは球団初のクライマックスシリーズ進出を果たしましたが残念ながらシリーズ2位。来年こそは楽々と共にシーズンを盛り上げていって欲しいものです。もちろん熊原健人選手には1軍定着を目指して頑張ってもらわなくては♪熊原健人選手後援会も11月で丸一年を迎えます。こちらも熊原健人選手の活躍次第でどんどん活動の幅が広がっていくことでしょう。来年の楽天との交流戦では角田からの応援チームでライトスタンドを埋め尽くしましょう！来年のプロ野球開幕が今から楽しみです。頑張れ～♪熊原健人選手！●あんふいにでは市内の皆様からの楽しい話題やイベントのお知らせ、スポーツ団体の団員募集などの情報提供をお待ちしております。お気軽にご連絡ください。●宮城のスポーツ情報や東北出身選手の情報は是非河北新報で♪

次回「あんふいに」は11月27日(日)発行予定です。

☆皆様からのイベント情報等をお待ちしています。原稿は毎月二十日頃までに、当店へ直接お持ちいただくか、FAXまたはメールにてお送り下さい。

編集 河北新報目黒新聞店
発行 〒981-1505
角田市角田字泉町137-2
フリーダイヤル (読むニュース)
0120-46-2004

皆様の元気のお手伝いを

第339号

平成28年11月号

【毎月最終日曜日発行予定】

月刊 あんふいに

わが家のカレンダー プレゼント!!

いつも河北新報・朝日新聞・毎日新聞をご愛読いただき、誠にありがとうございます。目黒新聞店では、日頃のご愛顧に感謝して、ご家族やペット、趣味など記念や思い出に残したい写真を「オリジナルカレンダー(2017年上半期用)」にして無料でプレゼントいたします。



- 応募条件／河北新報・朝日新聞・毎日新聞のいずれかを現在6ヶ月以上ご購入いただいている方、または新規に6ヶ月以上ご購入いただける方。※1購読につき1枚のサービスとさせていただきます。2枚以上(2種類も含む)ご希望の場合は有料となります。(追加1枚につき300円頂戴します。)
- 仕上がり／カラーA3サイズ(297×420mm) 2017年1月から半年間のカレンダーをいれ、ラミネート(パウチ)加工してお渡しいたします。
- 応募方法／下記の申込書に必要事項を記入し、カレンダーに載せたい写真を同封の上、河北新報角田販売所目黒新聞店まで直接お持ち込み下さい。
- ※ 写真のサイズは『【サービス判】から【A4(210×297mm)】』までとさせていただきます。なお、受注管理のため、写真を入れた封筒に【お名前】【ご住所】の記入をお願いいたします。
- ※ 写真は出来上がったカレンダーと一緒に返却いたします。
- 応募受付／11月1日(火)～11月15日(火)まで
- お受け取り／出来上がり次第順次ご連絡差し上げますので、引換券の日付をご確認の上、当販売所までお受け取りに来ていただきますようお願いいたします。

目黒新聞店『わが家のカレンダー』プレゼント 申込書

ご住所	電話番号
ご契約者名	年齢 才
No.	購読内容(どちらかに○を)
枚 円	・現在購読中
出来上がり予定日	・新規で6ヶ月購読希望(平成 年 月から)
	・ご希望枚数()枚
	※2枚目以降は1枚につき300円となります。 ※お預かりした個人情報適切に管理いたします。

わが家のカレンダー引換券

お名前	ご住所
No.	枚 円
出来上がり予定日	角田字泉町137-2 目黒新聞店 ☎63-3154